

NEWS: 犯人は？- 西日本防災システム

2013 12 16

12月15日午後3時40分頃、京都市伏見区の伏見稲荷大社近くの売店から「煙が出ている」と119番があり、京都市消防局の消防隊が、伏見稲荷大社北側にある稲荷山の雑木林で、枯れ葉から煙が上がっているのを発見し、すぐに消し止めました。

京都府警伏見署の発表によりますと、直前に、カラスが火のついたろうそく2本をくわえて飛んでいるのを参拝者が目撃していたそうです。煙が出たのが高さ約7メートルの高所だったことから、同署はこのろうそくの火が原因とみているようです。カラスが犯人？ 目撃証言では、ろうそくは売店近くのほこらに立ててあったもので、カラスは3本をくわえて1本をすぐそばに落とし、飛び去ったようです。

カラスは、ろうそくの油脂分が好きで、かじって食べることもあるそうで、火がついたまま持ち去ると、火災に至る場合があるようです。容易に近づけないように工夫する必要があるそうですね！



西日本防災システム
NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ

